

No.④	分類	I-(1)-ア	資料名	せかいとであう	学年	2年	関連領域例	特別活動（学級活動）	
								道徳科	C-(16) 国際理解

1 ねらい

- 世界には、様々な国や地域があり、言語や文化、習慣の違いに気付くことができる。

2 趣旨

- ゲームを通して日本以外の国や地域のことを楽しんで知る。
- 各国、各地域の伝統・文化を受け入れる。
- カード以外の国や地域にも興味を広げる。

3 配慮事項

- ワールドマッチングゲームとは、3人1組になり、神経衰弱のようにカードをめくり、自分の持つ「国カード」と同じ国の「知っ得カード」を集めるゲーム。
※カードは2種類あり、「国カード」と「知っ得カード」がある。「国カード」には、世界の国が、「知っ得カード」には、各国の伝統的な衣食住が描かれている。

【ワールドマッチングゲームの手順】

- ①それぞれのカードをシャッフルして、「国カード」は1人1枚持ち、「知っ得カード」は机の上に裏返して並べる。
- ②じゃんけんで順番を決め、「知っ得カード」をめくっていく。
手持ちの「国カード」と同じ国の「知っ得カード」は自分のカードにできる。
それ以外のカードは元に戻す。
- ③ゲームが終わったら、机上の「知っ得カード」を全部表に向ける。

- 「知っ得カード」はその国の特徴的な衣食住を示しているが、固定的なイメージを持たないように、実際には1つの国の中でも地域によって伝統や文化が異なるということも補足説明する。
- 「白カード」は、学級や学校の実態に応じて国（地域）カードやオリジナルのカードを増やすときに使用する。
- 導入で外国語の歌を歌ったり、知っている国や地域を出し合ったりするなど、外国語活動と関連させて、いろいろな国や地域に対する興味・関心を高めていくのもよい。
- 低学年なので勝敗にこだわるのが予想されるが、本時のめあてを意識させ、楽しみながら世界の国々や地域について知る活動になるように指導することが大切である。

4 展開例

学習内容	指導上の留意点
1 スライドを見る。 いろいろな国やちいきをしろう！	・ スライドを見せ、世界にはたくさんの国や地域があることを理解させる。
2 「ワールドマッチングゲーム」をする。 【3人1組で】	・ ゲーム前に、勝敗にこだわらず楽しんで多くの国や地域のことを知るよう促す。 ・ ゲームが終了したら、残った知っ得カードを全て表に向ける。
3 持っているカードを紹介する。 【3人1組で】	・ 自分のカードを紹介させる際、初めて知ったことや興味をもったこと等を発表させる。
4 感想を交流する。 【全体で】	・ 3つの国の中で行きたい国、もっと知りたい国を、理由を付けて発表させる。
5 世界には、他にも国や地域があることや文化や伝統があることを伝える。	・ 世界の国々や地域に興味をもたせる。